

# JUKI

第 88 期

平成14年上半期

## 中間事業報告書

平成14年4月1日から

平成14年9月30日まで

### JUKI 株式会社

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社平成14年度上半期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）の中間事業報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社は、平成14年度より新たな3ヵ年中期経営計画（平成14年度から平成16年度まで）を掲げ、これまでの様々な投資の成果を活かしつつ、グループを挙げてコスト削減をはかることにより、利益の拡大とキャッシュ・フローの改善を実現すべく、種々の取り組みを開始いたしました。

主な内容としては、主力である工業用マシン事業において、本年6月上海新工場が稼動したことにより中国での製造、販売、サービスが一段と充実いたしました。また、IT（情報技術）関連需要の長期低迷に直面している産業装置事業においては、販売体制の見直しなど事業体制の抜本的な改革を進めました。

更に、本年11月1日に当社の子会社である重機（中国）投資有限公司と上海浦東発展銀行との間で、総額5億人民元（日本円で75億円相当）のクレジットライン（与信枠）を設定する契約に調印いたしました。今までの生産活動、販売活動に加え、更に資金調達の現地化が進展することにより、JUKIの中国事業は新たな段階に入りました。

また、社内業務改革の一環として進めてまいりましたERP（統合業務管理）パッケージシステムやSCM（サプライ・チェーン・マネジメント）についても、本年10月より本格稼動いたしました。今後、リードタイムの短縮、在庫及び物流費の削減など、業務の効率化に大きく寄与するものと思われま

す。研究開発については、開発体制を再編し、中央技術研究所を設立したほか、既に導入済の三次元CAD（コンピュータ支援設計）とPDM（製品データ管理）システムもERPパッケージシステムとのリンケージにより、今まで以上に効率的な設計開発が可能となりました。

一方、品質面ではグループ全体の品質保証活動の更なるレベルアップのため、グループ本社内に「品質統括部」を新設し、これを担務する役員CQO（チーフ・クオリティ・オフィ

サー)を任命いたしました。今後も品質重視の姿勢を貫き、お客様から信頼いただける『JUKI』ブランドの育成に努めてまいります。

当上半期のわが国の経済は、IT(情報技術)関連需要の落ち込み、また民間設備投資や個人消費等も依然として低迷を続け、加えて円高の進行や株価下落等により、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、グループ連結売上高は606億6千9百万円(前年同期比2.9%増)、経常利益15億5千4百万円(前年同期比126.5%増)となりましたが、当社の単体売上高は371億7千7百万円(前年同期比5.0%減)、経常利益は1億6千5百万円(前年同期比71.5%減)となり、また、株価下落による投資有価証券売却損などの特別損失を計上したことにより、中間損益は5億2千7百万円の損失(前年同期は2億5千3百万円の利益)となりました。

以上申し述べましたとおりの業績の結果、誠に遺憾ではございますが、当期の中間配当は見送らせていただくことといたしました。株主の皆様のご期待にお応えすることができず、誠に申し訳なく存じますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後につきましては、この厳しい経済環境に対処するため、グループの総力を結集し、経営基盤の強化を目指すとともに、業績の回復に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年12月

取締役社長 中村和之

## 中間連結貸借対照表

(平成14年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>流動資産</b>	<b>104,103</b>	<b>流動負債</b>	<b>97,863</b>
現金及び預金	16,643	支払手形及び買掛金	15,062
受取手形及び売掛金	25,215	短期借入金	72,966
有価証券	450	未払費用	4,767
棚卸資産	55,367	未払法人税等	370
その他	9,234	賞与引当金	1,390
貸倒引当金	△ 2,808	その他	3,305
<b>固定資産</b>	<b>44,947</b>	<b>固定負債</b>	<b>45,538</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>24,431</b>	社 債	500
建物及び構築物	9,580	長期借入金	36,435
機械装置及び運搬具	5,081	退職給付引当金	7,615
土地	6,280	役員退職慰労引当金	227
その他	3,488	その他	760
<b>無形固定資産</b>	<b>3,982</b>	<b>負債合計</b>	<b>143,401</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>16,533</b>	<b>少数株主持分</b>	<b>529</b>
投資有価証券	6,283	<b>資 本 の 部</b>	
その他	11,537	資 本 金	9,941
貸倒引当金	△ 1,287	資本剰余金	6,900
<b>繰延資産</b>	<b>390</b>	利益剰余金	△ 6,612
		その他有価証券評価差額金	△ 970
		為替換算調整勘定	△ 3,744
		自己株式	△ 5
		<b>資本合計</b>	<b>5,509</b>
<b>資産合計</b>	<b>149,440</b>	<b>負債・少数株主持分・資本合計</b>	<b>149,440</b>

- (注) 1. 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 保証債務残高 605百万円  
 3. 受取手形割引高 2,254百万円  
 4. 有形固定資産の減価償却累計額 47,695百万円  
 5. 1株当たり中間純利益 2円42銭

## 中間連結損益計算書

(平成14年4月1日から  
平成14年9月30日まで)

(単位：百万円)

売上高		60,669
売上原価		37,899
<b>売上総利益</b>		<b>22,770</b>
販売費及び一般管理費		18,744
<b>営業利益</b>		<b>4,025</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	143	
その他の営業外収益	645	788
<b>営業外費用</b>		
支払利息	1,399	
その他の営業外費用	1,860	3,259
<b>経常利益</b>		<b>1,554</b>
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	51	
その他の特別利益	8	60
<b>特別損失</b>		
固定資産売却及び除却損	23	
投資有価証券売却損	838	
投資有価証券評価損	36	
その他の特別損失	232	1,130
<b>税金等調整前中間純利益</b>		<b>483</b>
法人税、住民税及び事業税	119	
法人税等調整額	90	210
<b>少数株主利益</b>		<b>28</b>
<b>中間純利益</b>		<b>244</b>

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

当社第88期上半期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）の営業の概況につきまして次のとおりご報告申し上げます。

## 営業の概況

当上半期のがわが国経済は、政府による景気底入れの発表はありましたものの、IT（情報技術）関連需要あるいは民間設備投資などは依然として低迷し、景気回復へのはっきりとした動きが見られないまま、むしろデフレ圧力は一層深刻なものとなりつつあるように思われます。

このような経済環境の下で、当社は売上の拡大に努めるとともに開発・製造・販売・管理のすべての分野において合理化・効率化を進めてまいりましたが、当上半期の売上高は371億7千7百万円（前年同期比5.0%減）、経常利益は1億6千5百万円（前年同期比71.5%減）となりました。

また、株価下落による投資有価証券売却損などの特別損失を計上したことにより、中間損益は5億2千7百万円の損失（前年同期は2億5千3百万円の利益）となりました。

部門別に見ますと、工業製品部門では、中国・アジア地区を中心とした需要は活発で、一部の製品では品薄となるなど好調に推移しましたが、海外における生産機能の増強に伴い、中国で生産し中国市場で売り上げた実績が当社単体の売上に計上されないこと、また、期央において一時円高に推移したことなどもありましたため、当社工業製品部門合計の売上高は、209億5千6百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

家庭製品部門では、昨年発売いたしました最高級コンピュータミシン（ジュレーブ）が好調で、この分野では引き続き高い国内シェアを維持することができました。また、欧米向けのOEM製品も好調に売上を伸ばし、宝飾品・健康商品も健闘いたしました結果、家庭製品部門合計の売上高は104億8千6百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

産業装置部門の需要は依然として低迷を続けており、当社の主力製品であるモジュラータイプの中型高速チップマウンター（KE-2000シリーズ）の受注も、とりわけ米国向けが落ち込むなど、産業装置部門合計の売上高は、50億5千5百万円（前年同期比21.5%減）となりました。

以上申し述べました当上半期の業績と、下半期につきましても引き続き為替や株価の動向は予断を許さない状況が予測されますので、誠に遺憾ではございますが、中間配当は見送らせていただくことといたしました。株主の皆様のご期待にお応えすることができず、誠に申し訳なく存じますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後とも業績の回復に向けて引き続き努力を重ねてまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

以上

## 中間貸借対照表(単体)

(平成14年9月30日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>流動資産</b>	<b>63,233</b>	<b>流動負債</b>	<b>67,901</b>
現金及び預金	3,008	支払手形	6,531
受取手形	16,408	買掛金	7,376
売掛金	10,054	短期借入金	47,069
有価証券	450	未払法人税等	57
棚卸資産	20,059	賞与引当金	618
短期貸付金	6,475	その他	6,248
その他	7,432	<b>固定負債</b>	<b>36,087</b>
貸倒引当金	△ 657	長期借入金	30,093
<b>固定資産</b>	<b>59,378</b>	退職給付引当金	5,562
<b>有形固定資産</b>	<b>8,395</b>	役員退職慰労引当金	182
建物	3,164	その他	247
機械装置	950		
土地	2,817	<b>負債合計</b>	<b>103,989</b>
その他	1,462		
<b>無形固定資産</b>	<b>1,301</b>	<b>資 本 の 部</b>	
<b>投資等</b>	<b>49,681</b>	<b>資本金</b>	<b>9,941</b>
投資有価証券	5,520	<b>資本剰余金</b>	<b>6,900</b>
子会社株式・出資金	33,276	資本準備金	2,485
長期貸付金	6,756	その他資本剰余金	4,415
長期滞留債権等	486	<b>利益剰余金</b>	<b>3,015</b>
その他	5,512	任意積立金	300
貸倒引当金	△ 1,008	中間未処分利益	2,715
投資損失引当金	△ 863	(うち中間損失)	( 527)
<b>繰延資産</b>	<b>258</b>	株式等評価差額金	△ 971
		<b>自己株式</b>	△ 5
		<b>資本合計</b>	<b>18,880</b>
<b>資産合計</b>	<b>122,870</b>	<b>負債及び資本合計</b>	<b>122,870</b>

- (注) 1. 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 保証債務残高 15,219百万円
3. 受取手形割引高 2,545百万円
4. 有形固定資産の減価償却累計額 25,654百万円
5. 1株当たり中間損失 5円20銭

## 中間損益計算書(単体)

(平成14年4月1日から  
平成14年9月30日まで)

(単位：百万円)

<b>経常損益の部</b>		
<b>営業損益の部</b>		
売    上    高		37,177
売    上    原    価		25,651
販売費及び一般管理費		10,270
<b>営    業    利    益</b>		<b>1,255</b>
<b>営業外損益の部</b>		
<b>営業外収益</b>		
受取利息及び配当金	987	
その他の営業外収益	488	1,475
<b>営業外費用</b>		
支    払    利    息	837	
その他の営業外費用	1,727	2,565
<b>経    常    利    益</b>		<b>165</b>
<b>特別損益の部</b>		
<b>特    別    利    益</b>		
固定資産売却益	47	
投資有価証券売却益	8	56
<b>特    別    損    失</b>		
固定資産売却及び除却損	6	
投資有価証券売却損	838	
投資有価証券評価損	36	
その他の特別損失	141	1,023
<b>税引前中間損失</b>		<b>801</b>
法人税、住民税及び事業税	△ 274	△ 274
<b>中    間    損    失</b>		<b>527</b>
前期繰越利益		1,814
利益準備金取崩高		1,428
<b>中間未処分利益</b>		<b>2,715</b>

(注) 記載金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 役員

(平成14年9月30日現在)

取締役会長	山岡建夫	代表取締役
取締役社長	中村和之	代表取締役
専務取締役	鈴木恵喜	CFO(最高財務責任者)兼 CAO(最高管理責任者)
専務取締役	杉原靖男	工業用ミシン事業部長
常務取締役	佐々木正	家庭製品事業部長
常務取締役	齋藤武	産業装置事業部長
取締役	藤田正邦	総合企画部長
常勤監査役	鈴木幹男	
常勤監査役	河村真也	
監査役	岡部進	
監査役	栗田盛而	
上席執行役員	仲野敏一	ジューキ電子工業(株) 代表取締役社長
上席執行役員	塩見賢吾	ジューキ・アメリカズ・ ホールディング(株)管掌
上席執行役員	上村功	JUKI大田原(株) 代表取締役社長
執行役員	吉田勉	重機(中国)投資有限公司 代表取締役社長
執行役員	三宅智久	CTO(最高技術責任者)兼 CQO(最高品質責任者)

1. 取締役7名は執行役員を兼務しております。
2. 監査役 岡部 進氏並びに栗田盛而氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 会社の概況 (平成14年9月30日現在)

設立	昭和13年12月15日
資本金	9,941,213,750円
発行済株式総数	101,375,990株
株主数	15,281名
従業員数	1,461名
営業品目	工業用ミシン アパレルシステム機器 皮革厚物機器、産業機器 電子機器、家庭用ミシン 健康商品、宝飾品

## 株式についてのご案内

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
公告掲載新聞	東京都において発行する日本経済新聞
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 (〒100-8240) <b>みずほ信託銀行株式会社</b>
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 (〒100-8240) <b>みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部</b>
郵便物送付先 及びお問合せ先	東京都江東区佐賀一丁目17番7号 (〒135-8722) <b>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部</b> 電話 0570-000324 (専用ダイヤル) (03)-3462-4004 (代表)
同取次所	<b>みずほ信託銀行株式会社 全国各支店</b> <b>みずほアセット信託銀行株式会社 本店及び全国各支店</b> <b>みずほインバスターズ証券株式会社</b> 本店及び全国各支店

**JUKI**

東京都調布市国領町 8 - 2 - 1

TEL 03-3480-1111

URL <http://www.juki.co.jp/>

証券コード 6440